

2025 年度 工学院大学学生自治会常任委員会 総括

工学院大学学生自治会常任委員会

委員長 川原毅丈



1. 存在意義及び活動目的

本会は、「自治委員会の執行機関」として自治委員会の決議事項を執り行う組織であり、「学園生活の充実と向上」及び「学生団体の統括と補助」を存在意義とする。また本会は、存在意義を満たす活動を企画、実行することにより学生への還元を活動目的とする。

2. 組織形態

本会は本部を新宿キャンパス、支部を八王子キャンパスに設置する。委員長、支部長に加え、本部・支部ともに会計局、企画局、渉外局、渉内局、サークル局、SHAIR 局の計 6 局から構成する。また本会の下部組織として「公認サークル会」を設置する。

3. 活動方針

a) 学生を活動に引き込む環境づくり

本会は本学学生への還元を軸とし、活動の企画と実施を行っている。活動を通し本学学生への還元をより行う為に学生が関心を持つこと、参加すること並びに利用することが必要である。2025 年度の具体的な方法としては本会公式 SNS アカウソクの運用継続と活用内容改善、学生掲示板、卓上 POP の活用、学生団体ポータルサイト SHAIR の運用改善と活用を行い、活動の情報を効果的に伝えられるとともに参加しやすい環境づくりに努めた。

b) 情報共有の強化

本会は、本会が管轄とするサークル及び自治委員会の管轄である学生団体の統括並びに適切な補助を行うに当たり、学生団体への情報共有が必須である。そのため、本会と各学生団体間での情報共有をより強化した。また本会を含む学生団体の活動は学生へ情報として届ける必要があり、情報発信の強化を意識した活動を行った。

c) 環境や時代に合った活動の見直し・改善

学生のニーズは時代や環境によって変化していく。本会では例年続いた活動に需要があるかの検証を継続的に行うことで時代の流れを把握していった。これによりそれぞれの時代に合わせた還元力のある活動ができるよう努めた。

4. 活動計画

a) 学生総会

工学院大学学生自治会会則、第 2 章に示す通り、学生総会(以下、総会と称する)を最高決議機関とし、年に一度、新宿・八王子キャンパスにて定例総会が開催される。学生の八分の一の出席、あるいは学生の委任状を以て成立するため、本会は自治委員会の執行機関として、総会会場の設営と運営、委任状の回収を行った。

b) 環境改善の促進

本活動はエコ推進委員会、学生支援課と連携して行った。八王子支部にて、八王子キャンパスの景観とロッカーの使用に関するマナーの向上を目的としたロッカー清掃、一般学生と八王子キャンパスの近隣住民と交流を図りながら学外の清掃を行い地域に貢献をする地域清掃を行った。

c) サークルの支援

本会は下部組織として公認サークル会を設置しサークルの統括、支援を行っている。そのためサークル活動の活性化、発展を図ることは本会の担うべき役割のため、今年度のサークル活動の発展を目指し活動した。公認サークル特典として、学園祭における模擬店出店にかかる費用の一部負担、サークル用ロッカーの貸与などを設けることで公認サークルの活動の幅への広がりをもたせ、サークル活動の活性化へ繋がった。準公認サークルにおいても、公認サークル特典を享受するため、公認サークルへの昇格を目指すことで活動の活性化へ繋がった。2025 年度はサークルからのご意見ご要望を汲み取り、適切な対応をし、サークル活動を支援した。

d) 社会貢献活動の促進

学生への社会知識の提供を目的として、社会に出ても有用である情報を提供できる活動を行った。社会貢献活動の中でも身近な存在である献血活動、募金活動、防災訓練を行った。献血活動は日本赤十字社の協力のもと、新宿・八王子両キャンパスで実施した。募金活動は例年、日本赤十字社の紹介する募金先への募金を主に本会の社会貢献活動、本学学園祭模擬店で実施した。防災訓練は本学が実施する防災訓練にて学生支援課と八王子消防署と連携し、本学学生に対して、防災に関する知識の提供を中心に本会が独自の活動を実施した。

e) 学生団体ポータルサイト SHAIR の運用

学生団体ポータルサイト SHAIR では、2024 年度に引き続き各学生団体の紹介や行事の告知を行った。また、学生団体の提出書類のダウンロードを行うことができる。本サイトは多くの学生に利用してもらうために学生が求める情報を提供すると同時に、多くの学生にとって見やすいサイトを目指し、見直し・改善を行った。また学生団体の情報は毎年更新されていくため、変化に対応した迅速な情報発信を行った。

f) 学園祭への参加

本会はアレハ王子祭・八王子祭、新宿祭に参加した。アレハ王子祭・八王子祭においてはステージ企画・模擬店の参加をした。本会が自ら参加することで他の学生団体にステージ企画・模擬店の魅力を知ってもらい、来年度以降の参加団体数を増加に寄与することを目的とした。新宿祭においては教室企画の出展、模擬店の出店、及び運営に関して支援した。また、本会はアレハ王子祭・八王子祭、新宿祭を盛り上げるため、本会は参加団体として学園祭に参加した。学園祭が盛り上がることで、一般学生に学園祭を楽しんでもらい「学園生活の充実と向上」を満たした。そのため本会では学園祭に積極的に関わった。